

令和3年度 東京都中学校音楽創作コンクール

課題詩

夜のオレンジ

高木 あきこ 詩

陽はまた昇る

秋山 啓之介 詩

みのり

山本 瓊子 詩

友だちって いいね

しま なぎさ 詩

みのりとは

一粒の

たった一粒の 種から

沢山の實を つけること

生きる時間ときの中で

わたしにしか 出来ない

たった一つを

さがして 育てて

わたしの みのりにしたい

友だちって いいね

未来の夢 語り合った 帰り道

どんな願いも かないそうな

そんな気がして

いっしょに見上げた 青い空

「じゃあね」

「また あした」

なんども なんども 振り向いて

手を 振ったよ

友だちって いいね

友だちって いいね

オレンジ ひとつ 手にのせて  
ゆっくりまわせば 夜がふける

いまごろ 地球の 向こう側

どんな風景 どんな時刻とき

オレンジ かるく 投げ上げる

おひさま色の 光がゆれる

光の中に 浮かんだ笑顔

はるかな国から 呼びかけてくる

オレンジ ひとつ 手にのせて

旅立つ朝を 思ってる

まるくて冷たい たしかな重み

ゆっくりまわす 静かな夜に

心に雨が降っていて  
眠れぬ夜を過ごしても

必ず朝がやってくる

花や虫や鳥たちや

すべてのものに囁いて

いつものように

陽はまた昇る

心はいつか晴れていて

少しおなががすいてきた

小鳥が何かはなしてて

頬の涙は乾いてた

地上にひかり満ちてきて

月を眠らせ

陽はまた昇る

いつものように

陽はまた昇る